

## 第2節 情報発信や情報公開など

### 1 様々な広報活動

防衛省・自衛隊の活動は、国民一人一人の理解と支持があって初めて成り立つものであり、分かりやすい広報活動を積極的に行い、国民の信頼と協力を得ていくことが重要である。

内閣府の「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」(15(平成27)年1月調査)によれば、国内外に広がる自衛隊の活動に対し、国民からの期待と評価が高まっている。この結果を踏まえ、防衛省・自衛隊の実態がより理解されるように、今後も様々な広報活動に努めていく。

また、自衛隊が任務を安定的に遂行するためには、諸外国の理解と支持も不可欠であることから、自衛隊の海外における活動を含む防衛省・自衛隊の取組について、諸外国に対する情報発信を

強化することも重要である。

**Q参照** 資料80(「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」抜粋)

### 1 国内外に対する情報発信など

防衛省・自衛隊は、公式ホームページ、動画配信やソーシャルネットワーキングサービス(SNS)<sup>1</sup>など、インターネットを活用した広報や、Social Networking Serviceテレビ、街頭大型ビジョン、電車内におけるコマース・フィルムの放映など、積極的な情報発信に取り組んでいる。

また、パンフレット、広報ビデオ及び『まんがで読む防衛白書』などの作成、広報誌『MAMOR(マモル)』への編集協力、報道機関への取材協力



### 国際広報に関する取り組み ～スイス バーゼルツアー2016に参加して～

東京音楽隊 音楽科 1等海尉 いわた 岩田 ちあき 知明

16(平成28)年7月、海自東京音楽隊(東音)は、スイス連邦国防・市民防衛・スポーツ省が後援する世界的に有名な「バーセル・タトゥー(BT)2016」に参加しました。タトゥーとは軍楽祭を意味します。

BTにおいて東音は、単独ドリル演奏及び英国海兵隊軍楽隊などとの合同演奏を行いました。単独ドリル演奏<sup>\*</sup>では、東京オリンピックファンファレで荘厳に幕を開け、日本の心の歌「ふるさと」を歌唱し、その後、和楽器を力強く演奏。最後に海自公式行進曲「軍艦」に乗せ、錨の形の人文字を一糸乱れず回転させるパフォーマンスに、観客などから「ファンタスティック!」と感嘆の声と盛大な拍手をいただきました。また、英国海兵隊軍楽隊との合同演奏では、文化の違いもあり、事前訓練では動作などの細かな取り決めができず不安を抱えていましたが、本番では堂々たる演技を披露することができました。

「音楽」は世界の共通語といわれますが、今回のBTでは、その「音楽」を通じ、世界に向けて自衛隊のみならず日本の魅力を大いに発信することができました。私たち音楽隊の「音の力」が平和への架け橋になるように、日々訓練に全力で取り組んで参ります。

※ 曲に合わせて色々なフォーメーションを展開する演奏スタイル



単独ドリルで敬礼をする筆者

<sup>1</sup> Facebookなどに加え、17(平成29)年1月に陸自がInstagramを開設している。

など、正確な情報を、幅広く、適時に提供するよう努めている。

さらに、防衛省・自衛隊の取組について、国際社会の関心の高まりも踏まえ、英文広報パンフレット『Japan Defense Focus』を毎月発行し、諸外国の人々にも理解を得るための努力を行っている。このほか、海外メディアの取材機会の提供、防衛省ホームページの英文サイトの充実、英語版の防衛白書やパンフレット・広報ビデオの作成など、国際社会に向けて情報を発信するための取組も積極的に行っている。

## ② イベント・広報施設など

防衛省・自衛隊では、自衛隊の現状を広く国民に紹介する活動を行っている。この活動には、陸自の富士総合火力演習や海自の体験航海、空自の展示飛行や体験搭乗などがある。また、全国に所在する駐屯地や基地などでは、部隊の創立記念日などに、装備品の展示や部隊見学などを行うとともに、地元の協力を得て、市中でのパレードを行っている例もある。さらに、自衛隊記念日記念行事の一環として、自衛隊音楽まつりを日本武道館で毎年開催しており、16（同28）年は、延べ約4万人が来場した。

また、陸・海・空自が順番に主担当となって観閲式、観艦式、航空観閲式を行っており、16（同28）年は、陸自が朝霞訓練場において観閲式を行い、陸海空自衛隊員など約4,000名、車両約250両、米海兵隊のオスプレイを含む航空機約50機が参加し、隊員の使命の自覚及び士気の高揚を図るとともに、自衛隊の精強さや強固な日米同盟を国民に示した。観閲式には、総合予行を含め約4



平成28年度観閲式の様子

万人が来場した。なお、17（同29）年は、空自による航空観閲式を計画している。

広報施設の公開にも積極的に取り組んでおり、市ヶ谷地区内の施設見学（市ヶ谷台ツアー）には、17（同29）年3月末現在までに約40万人の見学者が訪れている。また、各自衛隊は、駐屯地・基地の広報館や史料館の公開に加え、大規模広報施設を設けている。さらに、映画「シン・ゴジラ」など、映画やテレビの撮影協力を実施している。

## ③ 隊内生活体験

防衛省・自衛隊は、大学生・大学院生又は女性を対象とした自衛隊生活体験ツアー<sup>2</sup>や、団体・企業等を対象とした隊内生活体験<sup>3</sup>を行っている。これらは、自衛隊の生活や訓練を体験するとともに、隊員とじかに接することにより、自衛隊に対する理解を促進するものである。平成28（2016）年度は自衛隊生活体験ツアーに約140人が参加した。また、隊内生活体験には、企業などから約1,400件の依頼があり、約22,000人が参加した。

## 2 情報公開などへの取組

### ① 情報公開制度・個人情報保護制度の適切な運用

防衛省では、「行政機関の保有する情報の公開

に関する法律」に基づき、保有する行政文書の開示を行っている。また、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人の権利

2 「大学生等を対象としたサマーツアー・スプリングツアー」、「パセリちゃんツアー」、「女性のための自衛隊1日見学」の公募を防衛省・自衛隊ホームページなどでやっている。

3 陸・海・空自の生活を体験するツアーであり、自衛隊地方協力本部が窓口となって、民間企業などからの依頼を受けて実施している。

を保護するため、保有する個人情報の安全確保などの措置を講ずるとともに、保有個人情報の開示などを行っている。

**Q 参照** 資料81 (防衛省における情報公開の実績 (平成28年度))

## 2 公益通報者保護制度の適切な運用

防衛省では、内部の職員などからの公益通報を処理する制度と外部の労働者からの公益通報を処理する制度を整備し、それぞれの窓口を設置して公益通報の処理及び公益通報者の保護などを行っている。

## 3 政策評価への取組

防衛省は、政策評価制度に基づき各種施策について評価を行っており、平成28(2016)年度には、防衛大綱及び中期防衛力整備計画の主要な政

策のほか、研究開発や租税特別措置に関する事業の政策評価を行った。



### オリンピックでの自衛官アスリートの活躍

2016年リオ夏季オリンピック 男子50km競歩 銅メダリスト

自衛隊体育学校第2教育課(朝霞駐屯地) 陸上班 3等陸尉 あらい ひろおき 荒井 広宙

私はリオデジャネイロオリンピック男子50km競歩へ出場しました。試合当日は、日差しが強く厳しいコンディションの中でのレースとなりました。カナダ人選手との接触というアクシデントで一時は失格になりましたが、無事に銅メダルを獲得することができました。2020年には東京オリンピックがあります。競技を通じて夢や希望を与えられる選手になれるよう精一杯精進していきます。皆様の変わらぬご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

2018年平昌冬季オリンピックへの出場を目指す選手

自衛隊体育学校冬季特別体育教育室(真駒内駐屯地) スキー班 2等陸尉 よしだ けいしん 吉田 圭伸

「オリンピック出場」「オリンピックメダル獲得」を目指すにあたり、一番大切なのは平常心、体調管理だと考えています。どんなに力があっても力を出し切る環境を自分自身で作り出さなければ世界の強豪とは戦えません。夏場からのトレーニングで肉体を鍛えるのは当然ですが、それと同時に精神を鍛え、どんな場面でも力を出し切る強さを身につけていきます。

皆様の応援が力となります。ご声援よろしくお願い致します。



力走する吉田2尉